

スポレート実験オペラ劇場 II

ヴェルディ作曲
歌劇

LA TRAVIATA

「椿姫」

演出 パオロ・ハイオッコ

指揮 千葉 芳裕

ノヴェッラ・バッサーノ

[ヴィオレッタ]

アンドレア・C・コロネッラ

[アルフレード]

ヴィンチェンツォ・タオルミーナ

[ジェルモン]

■日時 2003年11月23日（日）開演 14:00

■会場 京都芸術劇場 「春秋座」

■料金 1階席 7000円 2階席 5000円（全指定・税込）

前売開始日 8月22日（金）

■主催 京都造形芸術大学・京都ヴェルディ協会

■協賛 イタリア文化会館一京都（イタリア大使館文化部）・日伊文化交流協会
京都市立芸術大学音楽学部

■協力 ヤマハ（株）エレクトーンシティ渋谷

■後援 京都府・京都市

■制作 サウンド・バンク株式会社

■お問合せ 京都芸術劇場 企画運営室 075-791-8240



京都芸術劇場
春秋座

LA TRAVIATA

スポレート実験オペラ劇場

イタリア中部、ウンブリア州の古都スポレートは、ローマ時代の繁栄を今に伝える水道橋や野外劇場の遺跡が残る静かな町です。フィレンツェの修道僧で画家のフィリップ・リッピが、モデルの尼僧と駆け落ちした大聖堂があることでも知られています。

スポレート実験オペラ劇場は1947年、イタリア国家とウンブリア州の援助によって設立された新人オペラ歌手育成に主眼をおいたカンパニーで、すでに 50年以上の伝統を持ちます。

この町では、1947年から「若きオペラ歌手のためのヨーロッパ音楽コンクール」が毎年行われていますが、古くはコレリ、ボニゾリ、モッフォ、現役歌手としてはブルゾン、ライモンディ、デヴィーア、ヌッチ、アリベルティ、ガナッシ、サッパティエーニ、フロンターリ等々、枚挙にいとまがないほど、錚々たる顔ぶれがこのコンクール入賞を足がかりにスター歌手となったことで、今では新人オペラ歌手の登竜門として、世界有数の名声と権威を誇っています。

毎年3月にそのコンクールを主催し、入賞者を決定すると、入賞者の顔ぶれに音楽的にふさわしいオペラ作品をいくつか選び、約半年稽古を重ねた後、イタリア国内の諸都市で、有望新人を発掘したい各地の劇場支配人やマネージャーたちの熱い視線のもと上演しているのが、スポレート実験オペラ劇場です。



パオロ・パオレティ 演出

ローマ、サビエンツァ大学建築学科卒業。演劇およびオペラの演出家としてトゥールーズ、サロニコ、アスコリの国際フェスティバルに参加、またスポレート歌劇場、サッサリのヴェルディ歌劇場、フィレンツェのコンナレ歌劇場、ミラノ・スカラ座などで活動。2004年のスポレート歌劇場日本公演に「奥様女中」「賭博師」の演出家兼役者として来日。オペラの伝統的な雰囲気を生かしたままの斬新な演出は絶賛された。



ヴィオレッタ
ノヴェッラ・バッサーノ
(ソプラノ)
Novella · Bassano



アルフレード
アンドレア・C・コロネッラ
(テノール)
Andrea · Cesare · Coronella



ジェルモン
ヴィンチェンツォ・タオルミーナ
(バリトン)
Vincenzo · Taormina

イタリア生まれ。リエティのG.O. ピトーニ学校で音楽の勉強を始める。その後アクイラのA. カゼッラ音楽院に通い、最高得点で卒業。マリア・ジェンティーレ、またクラウディオ・デズデーリ、レナート・ブルゾン、ルイジ・アルヴァの指導を受け研鑽を積む。

クレモナ「M. バジオーラ」、オルトーナ。「F. パオロ・トステイ」、ピサ「カッシーナ・リリカ」(新人賞)、そしてミラノ「As.LiCo」の各コンクールに入賞。C. デズデーリによる「オペラ・ワークショップ」コースに通い、モーツァルト《コシ・ファン・トゥッテ》、《フィガロの結婚》を学ぶ。2000年、第54回スポレート「若きオペラ歌手のためのコンクール」に入賞。その後スポレートにて、グルック《中国人》(シヴェネ)、ピゼー《カルメン》(フラスキータ)、2001年には、ハイドン《月の世界》(フラーミーニア)、ベルゴレージ《奥様女中》(セルビーナ)、ヴォルフ＝フェッラーリ《スザンナの秘密》(スザンナ)などのオペラに出演する。また2001年5月には、ミラノ「エンリーコ・カルーソ」コンクールで最高位を獲得。

2002年3月テラモのオペラ・シーズンにてウーゴ・グレコレッティ演出、マッシミリアーノ・ステファネッリ指揮によるドニゼッティ《愛の妙薬》(アディーナ)でデビュー。同年4月スポレート歌劇場日本引越公演では、ベルゴレージ《奥様女中》(セルビーナ)を歌う。

2003年5月、チェゼーナのテアトロ・ボンチにて、ブッチーニ《ラ・ボエーム》(ムゼッタ)に出演した。

1976年ナポリ出身。

アッリーゴ・ポーラ、ティート・トゥルトウーラ、ルチェッタ・ピッツィらに師事。またシエナのキジャーナ音楽院、パルマ王立歌劇場ヴェルディ・フェスティバルのオペラ・スタジオの専修科課程に通い、カルロ・ベルゴンツィやレナータ・スコットらに師事する。

数々のイタリア、国際コンクールにて入賞、2001年第55回スポレート「若きオペラ歌手のためのコンクール」では第一位を獲得。

彼はコンサート、オペラ公演活動をイタリア及び世界各国で行っている：王立歌劇場(パルマ)テアトロ・コムナレ(モデナ)、メタスタージオ劇場(アッジ)、モルラツキ劇場(ペルージャ)、マニャーニ劇場(フィデレンツァ)、カイオ・メリッソ劇場(スポレート)、ストゥールキ劇場(モデナ)、テアトロ・ヌオーヴォ(スポレート)、等。

彼のレパートリー：エルヴィーノ(夢遊病の娘)、アルトゥーロ(清教徒)、エルネスト(ドン・パスクワレ)、ネモリーノ(愛の妙薬)、ダニエル(ペトリイ)、エックリーテコ(月の世界)、トニーオ(連隊の娘)、マントヴァ公爵(リゴレット)など。

最近の活動では、マルティニ音楽院(ポローニャ)でのコンサート、プラハの大聖堂にてミサ(P.マスカニ)を歌う予定である。

1975年8月31日パレルモ出身。

建築学を学ぶと同時に音楽の勉強をはじめ。ミケール・アスピナル、ロレンツォ・アッルーガ、マーガレット・ペーカー＝ジェノヴェージ、エアンツァ・フェッラーリ、レナート・ブルゾン、ルジェーロ・ライモンディ、バリデ・ヴェントゥーリ等に師事。ブッセートの「カルロ・ベルゴンツィ・ヴェルディ音楽学校」にて修了証書を取得。ドイツのマークグラーフエン歌劇場にてモンテヴェルディ「ユリッゼの帰還」のネットウーノとアンティノオ役でデビュー。カナダにてイタリア文化会館、イタリア大使館協賛のヴェルディ没後百年記念のコンサートに出演。パレルモ・マッシモ歌劇場のスカララッティ・フェスティバルではオラトリオ「Davidis Pugna Et Victoria」(A.スカララッティ)のテクストゥスでデビュー。またアルバニアのティラナの劇場では、国際フェスティバル「Marie Kraia」にイタリアを代表して招待される。

2002年、第56回スポレート「若きオペラ歌手のためのコンクール」に入賞。スポレート・オペラ・シーズンでは、ドニゼッティ「ドン・パスクワレ」のマルタスタ役、またブッチーニ「マノン・レスコー」のレスコーでデビュー。

2003年オペラ・フェスティバル「マルタ島のマネル国立劇場」ではモーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」のマゼットでデビュー。

- オーケストラ 演奏員：ハイブリッド・オーケストラ(エレクトーン及び弦楽)
- スタッフ □演出 パオロ・パオレティ □指揮 千葉芳裕 □合唱指導 常森寿子 □照明 廣川哲彦 □舞台監督 佐藤政美 □コーディネーター 永竹由幸 □プロデューサー 橋 市郎

- コーラス Sop / 長澤万佐穂、石田美那子、奥田聖子
Alt / 八木寿子、丸山依里、増淵弥生
Ten / 竹内直紀、清水徹太郎、木下紀章
Bas / 周江平、若松浩司、近野賢一、吉田昌樹

春秋座オペラ

「オペラをぜひ見に行きたいが、高くねえ」という声をよく聞きます。確かに外国から大勢のアーティストが来日し、豪華な舞台装置や衣装を運び込む引越公演となると5万円、3万円というチケット代は致し方ないかもしれませんが、しかし、オペラはそこまでお金をかさねないと楽しめないのでしょうか。

オペラは総合芸術と言われますが、中でも一番の魅力は人間の声であり、その声が出せるドラマです。

『春秋座オペラ』はそこにスポットを当て、将来性のあるすばらしいオペラ歌手をイタリアから招聘し、ベルカント・オペラの神髄を味わって頂くとうしました。

「オーケストラ、コーラス、舞台装置、衣装については工夫をこらしても、声とドラマに関しては本物を！」

そんな狙いで企画された『春秋座オペラ』を十二分に御堪能ください。

椿姫 La traviata

ヴェルディのオペラ(3幕)。
台本ピアージェ(デュマの小説による)。
初演1853年3月6日ヴェネツィア(テアトロ・ラ・フェニーチェ) 1850年頃のパリを舞台にヴィオレッタ(ソプラノ)とアルフレード(テノール)の恋が、アルフレードの父ジェルモン(バリトン)の頼みで破れ、ヴィオレッタは胸の病いで淋しく死んでゆく。

日本では大正7年2月赤坂ローヤル館でローシー歌劇団により初演された。



丸山依里(フローラ) 八木寿子(アンニーナ) 竹内直紀(ガストン) 近野賢一(ドゥッフォル) 周江平(医者) 若松浩司(オセニ) 清水徹太郎(ジュゼッペ)(コミッションナリオ)

京都造形芸術大学 京都芸術劇場 春秋座

■入場料 : 1階席 7,000円 (全席指定・税込)
2階席 5,000円

'03年 11/23 (日)

■前売場所 : 京都芸術劇場企画運営室 075(791)8240
チケットぴあ 0570(02)9999 (P-コード 242-612)
京都音響プレイガイド 075(211)0261

14:00 開演

8月22日(金)より前売り開始!

■交通案内

- JR・近鉄 : 京都駅より、市バス5番「岩倉」行き(上終町京都造形芸大前)下車(約50分)
 - 阪急 : 河原町駅より、市バス5番「岩倉」行き(上終町京都造形芸大前)下車 市バス3番「上終町京都造形芸大前」行き
 - 京阪 : 三条駅より、市バス5番「岩倉」行き(上終町京都造形芸大前)下車 出町柳駅より、叡山電鉄に乗り換え「茶山」駅下車徒歩10分
 - 地下鉄 : 北大路駅より、市バス204循環(上終町京都造形芸大前)下車
- ※劇場には駐車場がありません。車での来場は御遠慮ください。

